

---

# シェゾのアルバイト！？

アニー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

シェゾのアルバイト！？

### 【Nコード】

N8574U

### 【作者名】

アニー

### 【あらすじ】

シェゾ・ウイグイイは、変た……いや、闇の魔導師である。そんなシェゾは、ある日、とあることに困っていた……。

(前)

シエゾ・ウィグイイ、流れるような銀色の髪に蒼い瞳、絵に描いたような顔立ち、そして、闇の剣を持つ闇の魔導師の男である。彼の人生は、14歳の時に一瞬にして変わった。

修学旅行で、男子校の魔導中学校に通う彼は、ラーナの遺跡に来ていた。なんでも、悪の大魔導師ルーンロードが、勇者に倒されたという場所として有名だった。

おとぎ話として、闇の魔導師ラルバが、光の戦士サイバーキャットに倒されたというものがある。だから、その勇者は光の勇者であつたのかもしれない。

そんな場所で、シエゾは鏡の中から誰かに呼ばれ、そしてそこに近付くと、彼はその鏡の中に魂だけ吸い込まれてしまっていた。そして、彼はルーンロードに闇の種を魂に埋め込まれた影響で、自らその闇の魔導師としての生き方に従うことを決めてしまった。

そんな彼の現在と言うと……。

「アルル！ お前が欲しい！」

白を基調とした服に身を包むシエゾは、肩に額にルベルクラクという宝石を嵌め込んだ黄色の生物を乗せて、金無垢の瞳に、後ろで結ばれた栗色の髪型を持つ、アルルと呼ばれた少女。そんな少女にシエゾは何とも誤解を生むような台詞を吐いていた。

「ヘンターイ！ 全く相変わらずキミは……」

「だーっ！ そういう意味ではないっ！」

そのアルルという少女から、シエゾは呆れられていた。そして、シエゾは言葉が抜けたらしく否定する。

「はいはい分かってるよ。どうせボクの魔力が欲しいんでしょ？」

シエゾは、常にアルルの魔力を狙っている。アルルには強大な魔力がある。初対面の時には牢屋に閉じ込めたものの、失敗した。彼女の实力は底知れなかった。

経歴を見ると、アルルは幼少児からエリートとして育っている。魔導師養成機関の幼稚園を、たった3年で、卒業試験に合格したのだ。

その幼稚園は、そのアルルの2年前に少年が1人、アルルの翌年に別の少女が1人卒業できたのみ。そんな幼稚園なのだから、実力あるのは当然だった。

しかし、シエゾとて強大の威力を誇るアレイアードを代表とした古代魔法を使いこなす。彼も相当な実力があるのに、なぜかアルルには勝つことができないのだ。

しかし、今日は実はシエゾの目的が違った。

「今日のオレは、お前のお金が欲しいのだ！」

「……は、はあ？」

シエゾに闇の剣を向けてそういわれ、アルルは首を傾げた。

「闇の魔導師とて、金が必要なものだ」

「やだよ。シエゾもボクのように、ダンジョンの中で魔物を倒して稼げばいいじゃないか！」

アルルの趣味はダンジョン探検。現在は古代魔導学校に通う彼女だが、何もない日はダンジョンで様々なモンスターを戦い、日々鍛えている。そのモンスターはお金を落としてくれるので、それで生活費を稼いでいる。

「あのな、オレのことをジメジメしてカビ臭くてキノコが生えてるとか言った奴は誰だ！」

シエゾはアルルを指差して怒る。ダンジョンの湿っぽい空気を、その言葉を理由に嫌うシエゾは、最近なかなかダンジョンに行かないようだ。

「……言ったつけ？ とにかく、ボクのお金はカレーの食材に使うからあげれない。……あ、そうだ、シエゾはアルバイトをしてみな

よ！」

「アルバイトだと？」

「そう。例えば、ボクやルルーなどの通う学校の中では、マスクド校長先生がアルバイトを募集してるんだ」

アルバイト、働いてお金を稼ぐ方法の一つ。マスクド校長の正体は、魔導世界を統括するような存在であるサタンなのだが、魔力によりカモフラージュされ、誰もその正体を知らない。

正体はともかくマスクド校長は、生徒の学費を助けたり、生活に困る人間助ける為にそういうことをしている。

「お前はしてるのか？」

「ボクはしてないよ。校長先生が、ボクを優秀な生徒の1人として学費免除にしてくれてるからね」

マスクド校長は、特定の成績優秀な生徒の学費を免除にしている。アルルはその中の1人である。

「そうか」

「な、なんでガツカリそうな顔を？　もしかしてボクが気になってたり……」

アルルは少し戸惑いながらシェゾに尋ねた。

「ち、ちっがーう！　お前の魔力が欲しいだけだ！　もういい！　今から全ていただいてやる！」

「ダイアキュート！　ダダイアキュート！　ダダダイアキュート！

……」

・  
・  
・

「む、無念だ……」

しばらくすると、シェゾはアルルにばたんきゅーさせられた。

「いっつもヘンタイなんだから……。じゃあ、ボクから言えることは以上だよ。行こつ、カーくん」

「ぐっぐーー！」

アルルと、カーくんと呼ばれた黄色い生物カーバンクルは、シェゾの横を通り過ぎて去って行った。

シェゾは思った。本当に、アルルの通う学校で例のバイト、やるしかないのか……と。

しかし、空腹感が凄まじい。だが、飯の為には、仕方がない……。シェゾは決意した。

(前) (後書き)

ぷよぷよ!! 20th発売おめでとうええええ!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8574u/>

---

シェゾのアルバイト！？

2011年10月5日17時26分発行